第 2 章　都留市の概況を知る

社会調査・地域調査 B　地域概況班
メンバー：　櫻井 渚　小寺康輔　小波智志　座馬真代　島尾菜々子

2.1　はじめに

問題関心

都留市民の生活や活動に関わることがらを通して地域の状況を知るということは、われわれ調査メンバー自身が現在住んでいる都留市が、どのようなまちであるかということについて理解を深めることである。これは、都留市でより充実した生活を送るうえで重要だと思い、関心をもった。この章では、都留市民に関わることを通して都留市の概況を明らかにしようと思う。

調査方法

都留市立図書館と都留文科大学附属図書館の郷土資料コーナーで文献調査を行った。都留市市役所を訪問し、資料収集を行った。基礎統計データは、山梨県統計調査課ホームページ「山梨県統計データバンク」を利用し、調査を行った。水資源に関する情報に関しては、文献調査のほか、2004 年 9 月 17 日、都留市役所水道課にて水道課課長柏木さんにお話を伺った。

活動記録

調査項目内容の基礎統計データ収集・文献調査
　日時：8 月 3 日（火）
　場所：大学 3 号館フリーラボ室・市役所・市立図書館（午前）、大学図書館（午後）
　参加者：小寺、櫻井、座馬、島尾

収集データの確認・話し合い（午前）、水道課訪問（午後）
　日時：8 月 3 日（水）　場所：大学図書館学習室１、市役所水道課
　参加者：小寺、小波、櫻井、座馬、島尾、榎本先生

水道課再訪
　日時：9 月 17 日（金）　場所：市役所水道課　参加者：小寺、榎本先生

打ち合わせ・文献調査
　日時：9 月 28 日（火）
　場所：大学図書館　参加者：小寺、小波、櫻井、座馬、島尾

水道施設観察
　日時：9 月 29 日（水）
　場所：佐伯橋　参加者：櫻井、座馬

2.2　人口と世帯数

人口

都留市の人口は 33,726 人（2003 年 6 月 1 日時点）で、ここ５年では 2,000 人ほど減少している。しかし減少の割合を示す 1,000 人あたりの転入・転出者数では、県平均（－1.42）や市部平均（－3.52）よりも低く－0.88 にとどまっており、山梨県内の市の中では、唯一プラスになっている南アルプス市（＋4.46）を除けば、人口減少率は最も低い（表１）。

表 1　市町村別社会動態（2003 年）

地域名	転入者合計	転出者合計	社会増減	社会増加率（人口 1000 人対）
県合計	42,403	43,669	−1,266	−1.42
市部計	20,853	22,537	−1,684	−3.52
郡部計	21,550	21,132	418	1.02
甲府市	10,398	11,273	−875	−4.48
富士吉田市	1,908	2,304	−396	−7.39
塩山市	642	824	−182	−7
都留市	1,571	1,602	−31	−0.88
山梨市	1,020	1,187	−167	−5.16
大月市	852	1,063	−211	−6.51
韮崎市	1,485	1,624	−139	−4.24
南アルプス市	2,977	2,660	317	4.46

（「山梨県統計調査課ホームページ」から引用）

市町村別将来推定人口という統計によると、現在は一時的に人口が減少しているものの、将来的には、少しずつ増加していくであろうとされている（表２）。

表 2　市町村別将来推定人口（都留市）

年度	2005 年	2010 年	2015 年	2020 年	2025 年
推定人口	37,336	38,162	38,830	39,284	39,620

（「山梨県統計調査課ホームページ」から引用）

人口を年齢別にみてみると、18～22 歳の層がそれぞれ 600～800 人前後と最も多く（表 3)、たとえば 18 歳人口は 17 歳人口に対して約 1.5 倍に膨らみ、19 歳人口では 2 倍以上に達している。これは、この市に都留文科大学があり、そこに進学してくる学生がこの市の人口の少なからぬ部分を占めているためだと考えられる。

また、男女比はほとんど同じぐらいであるが、全国平均や県平均同様、男性よりも、わずかに女性のほうが多い。ちなみに、都留市に住む 100 歳以上の高年齢者は 2003 年時点で 6 人いる（表 4)。

表 3　市町村別各歳別男女別人口（2000 年）

年齢(各歳)	総数	男	女
総数	35,513	17,202	17,202
１５歳	398	203	195
１６歳	408	211	197
１７歳	388	218	170
１８歳	616	260	356
１９歳	849	324	525
２０歳	868	316	552
２１歳	819	338	481
２２歳	672	295	377
２３歳	514	258	256
２４歳	446	226	220
２５歳	472	261	211
２６歳	450	204	246
２７歳	476	245	231
２８歳	491	225	266
２９歳	500	251	249
３０歳	491	248	243

（ともに「山梨県統計調査課ホームページ」から引用）

表 4 市町村別高齢者人口（2003 年）

地域名	総人口	100 歳以上
甲府市	194,892	43
富士吉田市	55,291	7
塩山市	26,726	11
都留市	34,097	8
山梨市	32,469	9
大月市	32,417	6
韮崎市	33,038	4
南アルプス市	72,449	16

人口密度

都留市の人口密度は、1k ㎡あたり 291.8 人で、県平均よりもわずかに上回っているものの、市部平均（368.2 人）を下回っている。この理由として、都留市の土地の 80%以上が、森林であるということが挙げられる。

世帯数

都留市の現在の世帯数は 11,600 世帯であり、人口が 33,726 人であるので、1 世帯の平均人数は 2.91 人となる。この数は全国平均よりも多い。しかし 1 人暮らしの学生がいるためか、近隣の市町村よりもやや少ない数になっている。

（小寺 康輔）

2.3　土地利用と自動車交通事情

土地利用

都留市の総面積は 161.58 平方キロメートルである。そのうち、宅地面積は 4.77 平方キロメートル、農用地は 4.23 平方キロメートル、そして森林・原野が 136.56 平方キロメートルで圧倒的に多い。宅地、農用地、森林・原野の各構成比は、それぞれ 3.0 %、2.6 %、84.5 %となっている。県の平均構成比は、それぞれ 3.7 %、6.2 %、78.4 %であるから、森林等においては県内でも恵まれている方だといえる。一方で宅地の面積は県平均と比較して狭く、市街地が山間部にあって、住宅等が集合しがちであることが影響していると思われる。

表 5　広域圏別土地利用の現状（2000 年）

単位:ha

地域名	農用地	森林	宅地	その他	合計
全県	27,511	346,144	16,785	56,097	446,537
富士北麓	2,000	35,134	2,244	9,064	48,442
山梨県東部	1,299	74,090	1,458	7,783	84,630
東山梨	4,768	45,187	1,581	5,229	56,765

（「山梨県統計データバンク・表番号 EDBC01000」より引用）

道路状況

都留市の道路事情について考察してみると、やはり中央自動車道が大きな位置を占めるといえる。そのうち、都留市を走っているのは河口湖へと伸びる支線だが、東京方面からのアクセス手段としては、鉄道利用の場合、大月で富士急行線に乗り換える必要があることを考えると、都留インターチェンジの果たす役割は大きい。また、谷村にはパーキング・エリアもある。高速道以外の重要な道路では、都留の市街地を北東から南西にかけて走る国道 139 号線がある。大月で国道 20 号線（甲州街道）から枝分かれし、富士吉田方面へと向かうこの道路と中央道が、市外から都留へ入る際にメインのルートとなる。その他の道路についてみてみると、市街地では、国道を含め、総じて道が狭く、それ以外では、やはり山あいであるためか、急カーブの続く山道が少なくない（県道都留道志線など）。

「平成 13 年度公共施設状況調査」（都留市・西桂町・道志村合併研究会）によれば、都留市の道路改良率は 59.7 %、舗装率は 77.9 %という数字が出ている。ともに他の市町村を下回る整備率のようである。

自動車保有台数

都留市の自動車保有台数の総数は 14,287 台で（表 6）、その内訳は、まず乗用車が 11,904 台で大半を占めており、次いでトラックが 1,933 台、特殊用途車が 322 台、バスが 128 台となっている。ちなみに 1 台当りの人口は 2.45 人で、１世帯当りの台数は 1.1 台である。

表 6　市町村別自動車課税台数（2003 年）

地域名	総数	乗用車	特殊用途車	一台当りの人口	一世帯当りの台数
甲府市	90,168	76,876	1,991	2.15	1.14
富士吉田市	23,278	19,443	475	2.29	1.36
都留市	14,287	11,904	322	2.45	1.10
大月市	12,107	10,378	287	2.66	1.11

（「山梨県統計データバンク・表番号 EDPB02000」より引用）

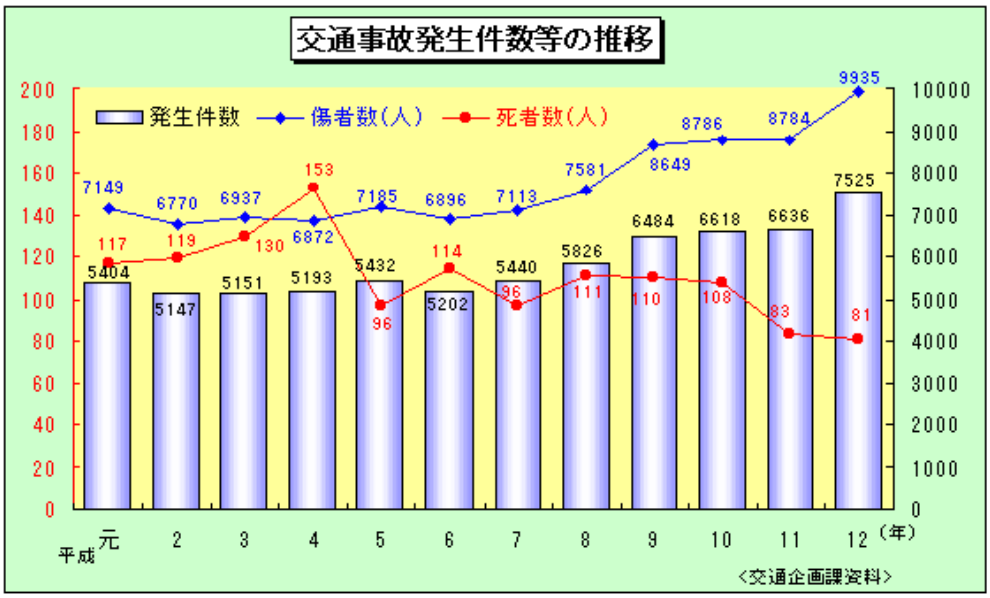
交通事故発生件数

1999 年の「安全基礎データ」（財団法人 統計情報研究開発センター）によると、都留市の交通事故の発生件数は 151 件で、死傷者数は 213 人にのぼる。特筆すべきは死者数 9 人という数字で、これは県全体をみても甲府市の 12 人に次いで 2 番目に多い数字である。ちなみに県全体では事故件数は 6,636 件で、死者数は 83 人、負傷者数は 8,784 人である。

表 7　交通事故の発生件数（1999 年）

地域名	発生件数	死傷者数	死者数	負傷者数
山梨県	6,636	8,867	83	8,784
甲府市	1,966	2,425	12	2,413
富士吉田市	381	539	4	535
都留市	151	213	9	204
大月市	203	292	4	288

（「山梨県統計データバンク・表番号 EDZC15000」より引用）



（「やまなしの統計・事故」より引用）

（小波 智志）

2.4　市民生活 ――都留のゴミ処理事情

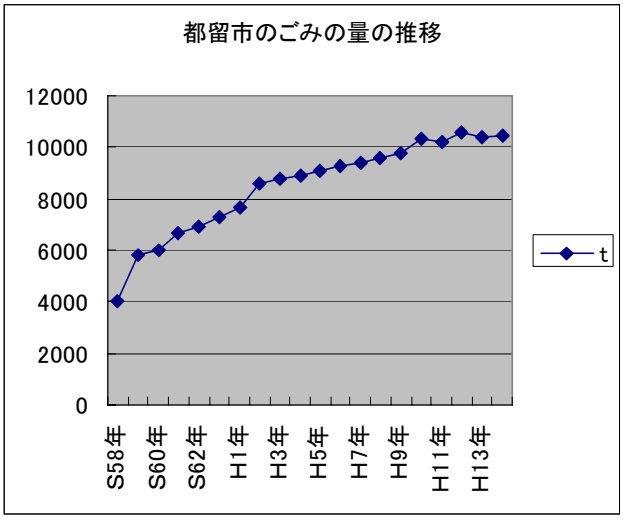
ゴミの収集量

都留市は現在 8 つの地域に分けてゴミを回収しており、そのいずれも大月市にある「まるたの森クリーンセンター」で処理される。都留市のゴミは増え続けている。表 8 を見ると、平成元（1989）年から平成 13（2001）年のあいだ、特に 8（1996）年から 13（2001）年の間に、可燃物と粗大ゴミの収集量が急増していることがわかる。

表 8　都留市内のゴミ収集量の推移

		平成元年	平成 8 年	平成 13 年
可燃物	収集量(t)	6,485	6,326	9,205
	台数(台)	3,919	3,490	
不燃物	収集量	1,223	1,026	1,037
	台数	1,202	1,139	
粗大ゴミ	収集量	288	327	646
	台数	427	402	

（「都留市統計書」より引用）



（「都留市カレンダー」より引用）

しかしその間、人口が大きく増加したわけでもなく、やはり、一人ひとりの出すゴミの量が増えたことが、市全体のゴミ収集量の増加の原因であろう。また、野焼きなどが禁止されたことも、ゴミが増えたことの原因のひとつとして考えられる。

県全体・近隣他市との比較

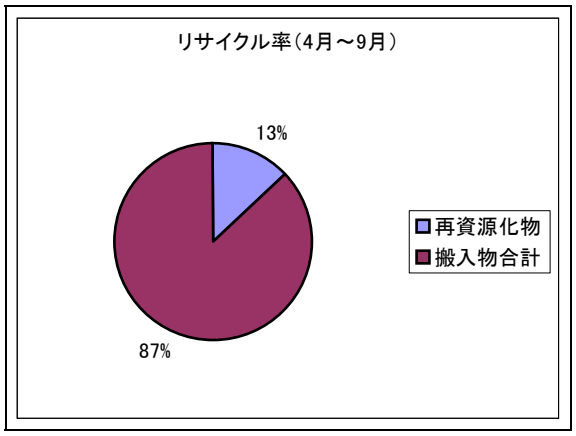
都留市近隣の各市および県庁所在地である甲府市と比べると、都留市のゴミの収集量はやや少ない（表 9）。しかし山梨県全体との差はほとんどないことから、都留市のゴミの量は平均的であるということがわかる。とはいっても、結果として 1 年間で 1 人あたり 313 キロものゴミを出しており、その処理に 9,000 円近い費用がかかっていることを私たちは認識しておかねばならない。2003 年の 4 月から 9 月までの間に「まるたの森クリーンセンター」に搬入されたゴミの総量のうち、リサイクルできる再資源化物は約 13 %だった。生ゴミを家庭で再資源化したり分別を徹底したりすれば、ゴミ

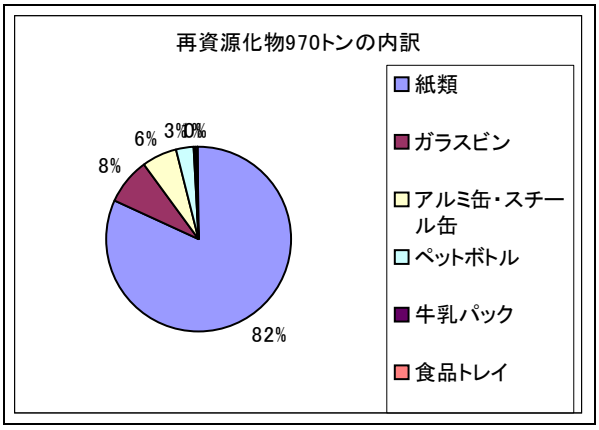
の総量も減り、リサイクル率も上がるだろう。

表９　山梨県全土および近隣の各市とのゴミの量の比較（単位ｔ/年、g/日、2001 年）

	人口	可燃物	合計	１人１日あたり処理量
山梨県	888,543	248,003	305,478	1,011
甲府市	191,548	71,491	89,308	1,329
富士吉田市	55,124	18,482	20,296	1,184
大月市	32,854	8,202	10,521	907
都留市	34,099	9,205	12,104	1,018

（「山梨県環境整備課ホームページ」から引用）





（いずれも「都留市カレンダー」から引用）

ゴミの分別収集形態

都留市では現在ゴミを 14 の種類に分類し、回収している。それぞれのゴミの収集回数と収集方法は右表のとおりで、住民は、各々が住んでいる地域のステーションに出すことになっている。（「山梨県環境整備課ホームページ」より引用）

また、ゴミ袋は半透明で大・中・小の 3 種類がある。価格は最も小さい袋が 80 円程度である。ゴミ袋には名前を書く欄があるが、筆者が普段使っているステーションでは、名前の書かれたゴミ袋を見たことがない。しかも、規定の日以外にゴミが出されていることもままあり、筆者の居住地域内に限っていえば、住民のゴミに対する意識はあまり高くないものと思われる。

「都留市でのゴミの収集形態」

	収集回数	収集方法
普通のゴミ		
混合ゴミ	なし	なし
可燃ゴミ	3／週	ステーション
不燃ゴミ	4／月	ステーション
資源ゴミ		
紙類	1／月	ステーション
金属類	1／月	ステーション
ガラス類	1／月	ステーション
ペットボトル	1／月	ステーション
プラスチック	1／月	ステーション
その他	1／月	ステーション
その他		
その他	なし	なし
粗大ゴミ		
粗大ゴミ	1／月	ステーション

（座馬　真代）

2.5　市民生活 ――都留の水道

都留市の水道の使用状況

表 10 によると、都留市の水道事情は以下のとおりであり、1989 年と 1996 年では微妙な差はあるものの、どの項目においても特筆すべき変化はない。

表 10　都留市水道事業実績の比較

	平成元年（1989 年）	平成8年（1996 年）
行政区域内人口（人）a	32,788	34,250
計画給水人口（人）b	17,000	17,000
現在給水人口（人）c	17,423	17,904
普及率　c/a（%）	53.1	52.3
c/b（%）	102.5	105.3
給水戸数（戸）	5,772	6,609
配水能力（㎥/日）	19,800	19,800
1日最大配水量	19,391	18,640
1日平均配水量	15,041	15,372
1人1日平均給水量（ℓ）	659	661
年間総配水量（㎥）	5,489,969	5,610,946
年間総有収水量	4,188,960	4,319,651

（「都留市統計書」から引用）

都留市の水道について

一般的に、都留市の水道水はおいしいといわれる。大手のミネラルウォーター会社が、密かに第２第３の採取地としているという噂もあるほどである（未確認であるが）。都留市水道課のホームページによると以下のように説明されている。

> 都留市の水道は、富士山の雪解け水が地面にしみこみ、長い年月を経て自然の力により濾過された湧水、深井戸水を使用している。上水道の水源は佐伯橋の下で、いちど高所に揚水して市内に配られている。詳しく説明すると、戦後の第１期拡張事業において、水源が桂川の表流水から湧水に切り替えられたのである。第１および第３の両水源とも都留市の最高所に位置する。ここから桂川に向かって細長く続く市街地とその隣接地に、コスト的には一番有利な自然流下によって給水がなされてきた。しかも湧水は水質が大変良く、簡単な塩素滅菌をするだけですむ。

このような理由により、水道料金が安くなるというわけである（右の写真は佐伯橋にある水道施設）。ちなみに硬度は 50 前後の硬水で、PH 値はアルカリイオン水の数値をみたす PH 7 以上である。山梨県ではたくさんミネラルワォーターが生産されており、都留市以外でも富士吉田市のヴァナジウムウォーターなどは有名である。

都留の湧水資源

都留市は市の総面積のほとんどを山林によって占められている。山に囲まれている山間部の低地に桂川を始めとする何本もの河川が流れ、その流域に集落や市街地が形成されてきた。特に桂川は相模川水系中最大の支流であり、都留市の中心部を流れている。「水源である山中湖から大月に至るまでの間は特に勾配がきつく流速が大きく下刻作用が著しい。その故ところどころの急流や懸漠をつくり出している。〔中略〕はげしい下刻作用のおかげで河道中や河道に面する断崖に多くの湧水をみること」ができる（和田ほか 1983）。この湧き水が都留市の上水道の水源となっていて、市民に、水を供給し、発電用水にもなり、さらに工業用水にもなってきた。湧き水の湧出量は降水量にそれほど左右されることがなく安定しているため、桂川と相模川の流量を非常に安定させている。

安い水道料金

都留の上水道の水源のほとんどは上で述べた湧き水と、70m以上の深い井戸からポンプなどにより汲み上げた深井戸水である。水質が優れているので浄化は最も簡単な塩素滅菌だけでよく、一度高いところまで水を汲み上げ、そこから自然流下で配水を行っている。下図のように、大都市圏と比べてみると処理過程が少ないことがよくわかる。そのため水道料金は低く抑えられているのである。

大都市圏　①水源→②沈殿池→③高度浄水処理施設→④ろ過→⑤塩素注入→⑥配水池→各家庭

都留市　①水源→②塩素注入→③配水池→各家庭

（「広報つる」2001 年 11 月号 No.494 から作成）

「水道料金が安い」といわれるが、実際にはどのくらい安いのであろうか。じつは、かつては全国で一番安かったのである。現在は 10 位なのだそうだ。なお、2005 年 5 月から水道料金の値上がりにより全国で 20 番前後になる予定だとのことである（都留市水道課ホームページ）。

おいしい水道水

2001 年 11 月の「広報つる」では、都留の水道水と国内産ミネラルウォーター、外国産ミネラルウォーターの 3 種類による飲み比べ調査の結果が紹介されている。それによると、（A）国内産ミネラルウォーター、（B）外国産ミネラルウォーター、（C）都留市の水道水が用意され、それらを一晩冷蔵庫で冷やして、A、B、C とだけ書かれたコップにいれて飲み比べてもらう、というものであった。その結果、20 人中 11 人の人が都留の水道水がおいしいと答えたそうである。

＜おいしい水の条件＞

①水温

15～20℃以下の水温

②ミネラル

ミネラルとは、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、鉄、マンガンなどが溶け込んでいることで、このそれぞれの量が水の特色や味を左右する要素である。ミネラルが多すぎると苦味や渋みを感じ、少なすぎると気の抜けたような味になる。

③硬度

カルシウムとマグネシウムを換算した数値のこと。この成分がミネラルの主要成分を占め、味の面で重要な役割を果たしている。硬度が高い（硬水）ほどミネラルを多く含み、硬くしつこい味がする。硬度が低い（軟水）水は淡白な味がする。1リットル中 10～100 ミリグラムが適当で、50 ミリグラム前後が日本人に多く好まれるようである。

④その他（pH 値）

- アルカリイオン水…中性（pH7）に対しアルカリ性の水。人間の体の血液や体液に近く吸収力が高い。
- 酸性イオン水…中性に対し酸性の水。人間の皮膚にちかく、化粧水代わりに使用できる。殺菌力があり、食器洗いやうがいにも適している。

（「広報つる」2001 年 11 月号　No.494 から引用）

上述したように、都留の水道水は硬度 50 前後の軟水であり、pH 値についても平均して 7 以上とアルカリイオン水の数値を満たしている。そのため、日本人にはおいしいと感じられるのである。

（島尾 菜々子）

2.6　市民活動

市内の NPO 法人

都留市内に主たる事務所がある山梨県知事認証 NPO 法人について、法人名、活動目的、活動分野、法人成立年を整理すると以下のとおりである。

表 11　NPO 法人活動内容一覧

法人名	活動目的	活動の種類	成立年
エコライフ山梨	有用微生物技術の活用を中心に生ゴミ堆肥化の推進、自然農法の普及をはじめ、汚水処理、工業利用産業廃棄物リサイクルの推進など、地球レベルの環境問題の解決のため。	環境保全	2001 年
住まいる ネットワーク	地域に根ざした住環境の整備と向上に関するサービスを提供し、すべての人々が健やかに暮らせる地域づくりの増進に寄与するため。	保健・医療・福祉 まちづくり 環境保全 地域安全活動	2003 年
生活クラブ	援助を必要とする老人に対し介護に関する事業を行い、生活の質の向上に寄与するため。 自然環境保護に関する事業を行い、生活環境の向上に寄与するため。	保健・医療・福祉 環境保全	2003 年
社会環境調査機構	ライフスタイルの変化調査研究、弱者調査支援、緊急災害調査支援、環境調査支援、医療福祉調査支援を行うこと。 生活の質の向上や医療と福祉の連携、地域環境の保全等に努め、他団体との協力や支援を通じ、公益の増進に寄与するため。	保健・医療・福祉 社会教育 まちづくり 環境保全 地域安全活動 災害救護活動	2000 年
都留市体育協会*	スポーツを振興して市民の体力の向上とスポーツ文化の高揚を図り、民主的で文化的な社会の建設に寄与するため。	スポーツ振興 社会教育 まちづくり 子供の健全育成	2003 年

あさひファーム	地域住民や都市住民に対して動物とのふれあいの場を提供と、有機無農薬農業の実践を通じ地域農業の活性化に寄与するため。 BDF の実用化やマイクロ水力発電所の建設を促進し、地球温暖化防止に寄与するため。	保健・福祉・医療 社会教育 まちづくり 環境保全 子供の健全育成	2004 年
天使のおもちゃ図書館はばたき	障害者(児)に対して自立および療育にかかるサービス事業を行い、障害者(児)の自立と地域社会および行政の理解を深め、障害者(児)が地域で普通に暮らしを送ることに寄与するため。	保健・福祉・医療	2004 年

(「山梨県ホームページ」から作成)

＊ 都留市体育協会は、市制 50 周年特別事業のひとつとして 2004 年 7 月 30 日に行われた「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」に、開催準備委員会のひとつとして参加した。

山梨県内にある NPO 団体 112 団体のうちの 7 団体が都留市に主たる事務所を構えている。そのうち 5 つが 2003 年以降に成立ということで、まだ新しい法人が多い。活動の種類においては、それぞれ内容は異なるものの、環境保全を行っている法人が多い。また、多くの法人の活動分野が複数のものにまたがっている。

市内のボランティア団体

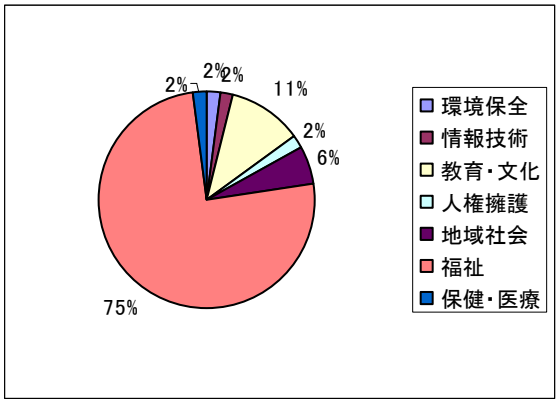
市内のボランティア支援をしている「ボランティアセンター」に登録して活動している団体について、それらの活動団体数、活動者数を活動分野別に整理すると以下のとおりである。

表 12　活動分野別ボランティア登録団体数と活動者数

	団体数	活動者数
環境保全	1	85
情報技術	1	90
教育・文化	6	198
人権擁護	1	30
地域社会	3	165
福祉	40	4440
保健・医療	1	26
合計	53	5034

人口約 3 万人に対し、のべ 5,034 人の市民がボランティア活動に参加している。

図 1　活動分野別ボランティア登録団体数



全体としては福祉関連が多いが、活動分野はそれにとどまらず、環境保全、教育・文化、地域社会などさまざまな分野におよんでいる。

(いずれも「都留市社会福祉協議会ホームページ」から作成)

表 13　ボランティア登録団体の活動目的

ボランティアが主目的であるか？		
	Yes	No
環境保全	0	1
情報技術	1	0
教育・文化	2	4
人権擁護	1	0
地域社会	3	0
福祉	22	18
保健・医療	1	0
合計	30	23

（「都留市社会福祉協議会ホームページ」から作成）

「ボランティアが主目的であるか」という質問に対し、「主目的である」と答える団体のほうが若干多い。

市では市民の活動支援と活性化のため、2003 年 4 月に「都留市市民活動推進条例」を策定するとともに、その拠点となる「市民活動支援センター」を市役所の別館に設置した。「ボランティアセンター」は、市内 7 地区（谷村、三吉、開地、東桂、宝、禾生、盛里）に地区ボランティア・コーディネーターを配置し、情報提供、相談、援助、会場・機材（車イス、アイマスク、杖、ビデオ図書、点字器、高齢者疑似体験セット）などの貸し出しと提供、ボランティア活動保険、ボランティア体験講座や作品会・都留市ボランティア祭りの開催などの業務を行っており、市民によるボランティア活動の普及に努めている。

上記の統計データは、「ボランティアセンター」に登録されている団体のみを対象としており、市内にはこれら以外にもボランティア団体が存在する可能性がある。そのため、何らかのボランティア活動に参加している市民の数はさらに上回ると思われる。また、市内の小中学校でもボランティア活動が行われている。「市民活動センター」や「ボランティアセンター」が設置されており、ボランティアに参加する市民が活動しやすい環境になっているといえよう。

男女共同参画社会実現のための活動

都留市は、1996 年 3 月に「都留市女性プラン」を策定し（このプランの期間は 2006 年までの 10 年間となっている）、以来、男女共同参画社会の実現のために積極的な取り組みを行ってきた。2000 年 3 月 24 日には、「具体的に実効性のある男女共同参画行政の推進と男女パートナーシップ形成」を目的として、「都留市男女共同参画基本条例」が制定されている。この「都留市男女共同参画基本条例」は、全国に先駆けて施行された条例として注目を集めた。条例には、最近問題となっているセクシュアル・ハラスメントやドスメティック・バイオレンスの禁止条項が設けられるなど、「市民、事業者、行政が共通の意識の中で一体となった取り組み」を実施することが謳われている。さらに、2001 年 3 月 4 日には、「男女共同参画社会づくりに向けたさらなる市民意識の変革と具体的に実効性のある男女共同参画社会の実現に向けて、その機運を広く醸成すること」を目的に、「男女共同参画都市」が宣言された。毎年 2 月には「男女共同参画推進フェスティバル」も開かれている。「都留市女性プラン」は、期間終了を迎える 2006 年後も更新・継続されることになっており、「男女共同参画推進委員会」によって、その新しいプランづくりが行われている。

「男女共同参画都市」宣言の記念として設置されたモニュメント（都留市文化会館前市道）。市は、男女共同参画社会実現に向けた取り組みを市民にアピールし、男女共同参画社会の推進を図ることを目的に、このモニュメントを建立した。

その「男女共同参画推進委員会」は各種団体の代表および公募によって選出された 15 名の委員によって構成されており、毎月 1 回定例会議が開かれ、男女共同参画にかかわるさまざまな問題が協議されている。また、「都留市男女共同参画推進だより　はばたき」の発行や「全国女性会議」・フォーラムへの参加など、他の自治体との交流も積極的に行われている。

このほか、市内には「ぴゅあ富士 山梨県立男女共同参画推進センター」もあり、男女共同参画関連のセミナーや講座の開催、図書やテープの貸し出しなどが行われている。

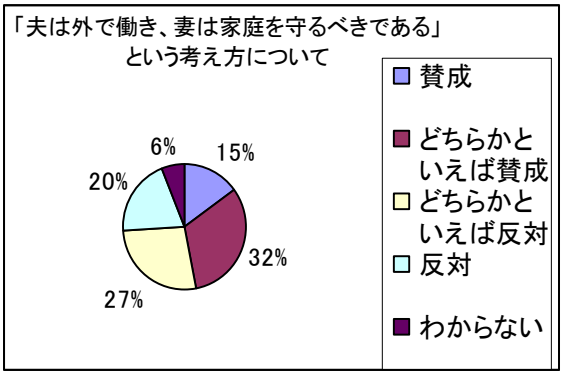


図 2　男女共同参画に関する意識（2002 年全国調査）

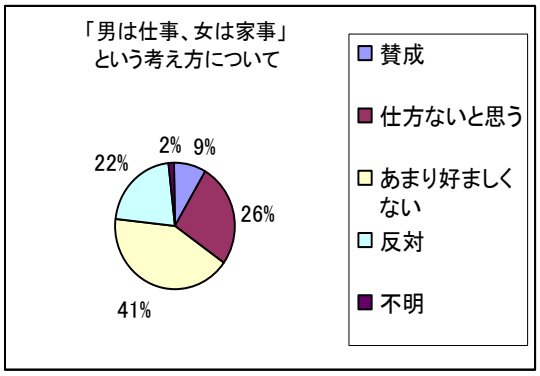


図 3　同意識（2001 年都留市民調査）

（図 2「みんなが幸せな社会のために 男女共同参画社会を目指して」より引用）
（図 3「男女共同参画推進だより はばたき No. 1」より引用）

男女共同参画に関する意識をみると、全国では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対し、「賛成、あるいはどちらかといえば賛成」と回答した人と、「反対、あるいはどちらかといえば反対」と回答した人はほぼ同じ割合である（図 2）。いっぽう、都留市民は「男は仕事、女は家事」という考え方に対し、「あまり好ましくない、あるいは反対」と回答した人が、全体の約 6 割を占めている（図 3）。都留市においては、「男は仕事、女は家事」という考えを好ましくないと思っている人の割合が、全国に比べ高くなっている。

（櫻井 渚）

参考文献・資料

都留文科大学社会学科編著、1998、『地域を考える大学』日本評論社

和田明子他著、1983、『郡内機業圏の経済地域構造の変貌』昭和 58 年度文部省科学研究費補助金成果報告書

都留市役所「広報つる」2001 年 11 月号 No.494, 2004 年 9 月号 No.528

都留市役所「都留市カレンダー」

都留市・西桂町・道志村合併研究会、2003、「都留市・西桂町・道志村広域的まちづくり研究報告書概要版」

都留市商工観光課統計労政係、「都留市統計書」

都留市男女共同参画推進委員会、2004、「都留市男女共同参画推進だより はばたき」No.1、都留市

えがりてネットワーク（男女共同参画推進連携会議）、2003、「みんなが幸せな社会のために 男女共同参画社会をめざして」内閣府男女共同参画局

山梨県立男女共同参画推進センター、「ぴゅあ富士 利用案内」

「都留市役所ホームページ」（ http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/, 2004 年 9 月 1 日, 27 日, 10 月 8 日）

「都留市社会福祉協議会ホームページ」（ http://www11.ocn.ne.jp/~t-shakyo/, 2004 年 10 月 6 日）

「山梨県ホームページ」（ http://www.pref.yamanashi.jp/pref/index.jsp, 2004 年 9 月 19 日）

「山梨県統計調査課ホームページ」（http://www.pref.yamanashi.jp/toukei/index.html, 2004 年 9 月 17 日）

「山梨県統計データバンク・表番号 EDPB02000 市町村別自動車課税台数」
（http://www.pref.yamanashi.jp/toukei/DB/EDP/dbpb02000.html, 2004 年 9 月 14 日)

「山梨県統計データバンク・やまなしの統計・事故」
（http://www.pref.yamanashi.jp/toukei/book/01gmjiko.html , 2004 年 9 月 14 日）

「山梨県統計データバンク・表番号 EDZC15000 安全基礎データ（市町村編）」
（http://www.pref.yamanashi.jp/toukei/DB/EDZ/dbzc15000.html, 2004 年 9 月 14 日）

「山梨県統計データバンク・表番号 EDBC01000 広域圏別土地利用の現況」
（http://www.pref.yamanasi.jp/toukei/DB/EDB/dbbc01000.html, 2004 年 9 月 14 日）

山梨県環境整備課ホームページ「山梨のゴミ問題　資料編（市町村別データ）」
（ http://www.pref.yamanashi.jp/rinkan/kankyokatu/gomij/kawara-head.htm, 2004 年 9 月 1 日）

日本 NPO センター・ホームページ「NPO 広場」（ http://www.npo-hiroba.or.jp/, 2004 年 9 月 19 日）